低圧バスダクト

概　要

バスダクトとは1930年頃米国で開発された“Bus Way System”と称される新しい電路方式を指すもので……バスダクトは銅やアルミを導体として、これを支持する難燃性の絶縁支持物を金属製ダクトに納めたものである……わが国で実際に採用されたのは1954年頃でその後めざましい発展を遂げ現在ではビルディング、工場などの電気設備には不可欠な配線方式となっています。

近年、ビルディング、工場などの各種建物の電力需要は年々増加の傾向にあり、従来の電路方式すなわちコンジット方式では配線の施工に当って多くの困難を伴ってきており、しかも、配線系統に変更が生じた場合、それを簡単に変えることはほとんど不可能でありますが、バスダクトを採用すれば容易にその目的を達することができます。

また建築物においては美観ということも大切な要素となってきております。

経済的な面では、バスダクト自体の価格はケーブルと比較して若干割高になりますが、配線用の各種付属品を含めて経済比較を行ないますと、バスダクトによる方が安価な建設費になります。特に電流容量が大きくなると、この傾向はますます大きくなってまいります。

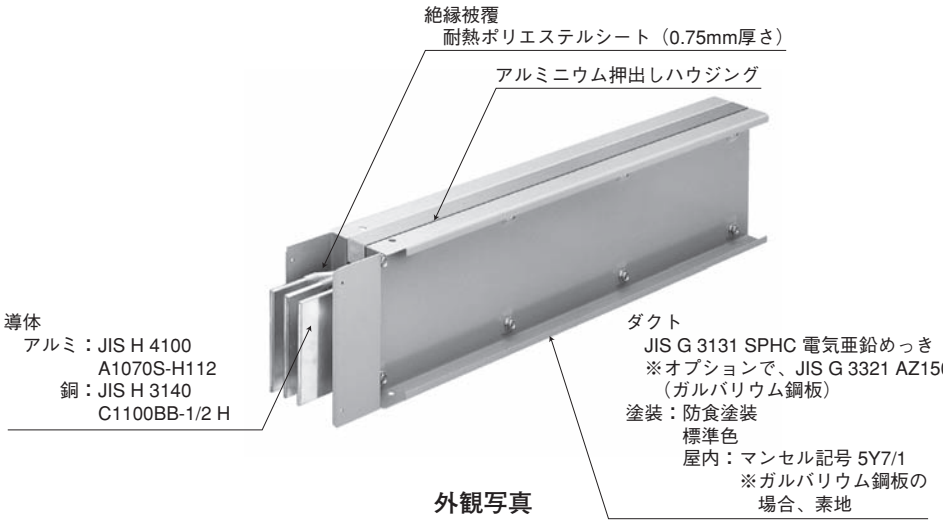
特　長

バスダクトは導体に銅あるいはアルミの矩形導体を使用しているので、電流容量が非常に大きく電気的特性や機械的特性も良く、また、外箱が金属ダクトになっているため不燃性で極めて安全度の高いのが特長であります。

また、従来の配線方式に比較して設備に要する場所や床面積を著しく節約でき、かつ外観が良いためビルや工事などには非常に有利な配線方式といえます。

1．大電流容量のものができる
2．電圧降下が小さい
3．短絡強度が大きい
4．高い信頼度と長い寿命を有する
5．高い安全性を有している
6．配線系統の増設、変更に順応性がある
7．外形寸法が小さい
8．軽量であるため取扱い易い
9．接続がきわめて簡単である
10．工事および点検が簡単である
11．近代的な美観を備えている
12．昭和バスダクトはJIS C 8364に適合

密着絶縁形バスダクト（Z型）



外観写真

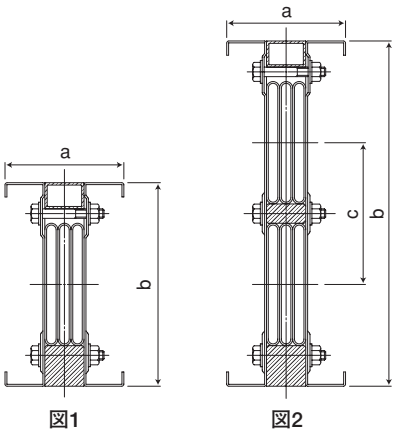


図1　図2

3線式

■アルミ導体バスダクト

定格電流 A	導体サイズ（厚×幅×枚数） mm	3線式 a mm	3線式 b mm	3線式 c mm	3線式 質量 kg/m	4線式 a mm	4線式 b mm	4線式 c mm	4線式 質量 kg/m	図
600	8× 40×1	100	110	—	11	120	110	—	12	1
800	8× 60×1	100	130	—	12	120	130	—	14	1
1,000	8× 75×1	100	145	—	14	120	145	—	16	1
1,200	8×100×1	100	170	—	17	120	170	—	19	1
1,500	8×135×1	100	205	—	20	120	205	—	23	1
1,600	8×150×1	100	220	—	22	120	220	—	26	1
2,000	8×190×1	100	260	—	26	120	260	—	31	1
2,500	8×240×1	100	310	—	31	120	310	—	37	1
3,000	8×300×1	100	370	—	37	120	370	—	45	1
3,500	8×170×2	100	430	190	42	120	430	190	52	2
4,000	8×190×2	100	470	210	47	120	470	210	57	2
4,500	8×220×2	100	530	240	53	120	530	240	65	2
5,000	8×250×2	100	590	270	59	120	590	270	82	2
6,000	8×300×2	100	690	320	69	120	690	320	85	2

■銅導体バスダクト

定格電流 A	導体サイズ（厚×幅×枚数） mm	3線式 a mm	3線式 b mm	3線式 c mm	3線式 質量 kg/m	4線式 a mm	4線式 b mm	4線式 c mm	4線式 質量 kg/m	図
800	8× 40×1	100	110	—	17	120	110	—	20	1
1,000	8× 60×1	100	130	—	22	120	130	—	27	1
1,200	8× 75×1	100	145	—	26	120	145	—	32	1
1,500	8×100×1	100	170	—	33	120	170	—	40	1
1,600	8×110×1	100	180	—	35	120	180	—	44	1
2,000	8×150×1	100	220	—	46	120	220	—	58	1
2,500	8×190×1	100	260	—	56	120	260	—	71	1
3,000	8×240×1	100	310	—	69	120	310	—	88	1
3,500	8×135×2	100	360	155	77	120	360	155	99	2
4,000	8×150×2	100	390	170	86	120	390	170	110	2
4,500	8×170×2	100	430	190	97	120	430	190	123	2
5,000	8×190×2	100	470	210	106	120	470	210	137	2
6,000	8×240×2	100	570	260	132	120	570	260	171	2

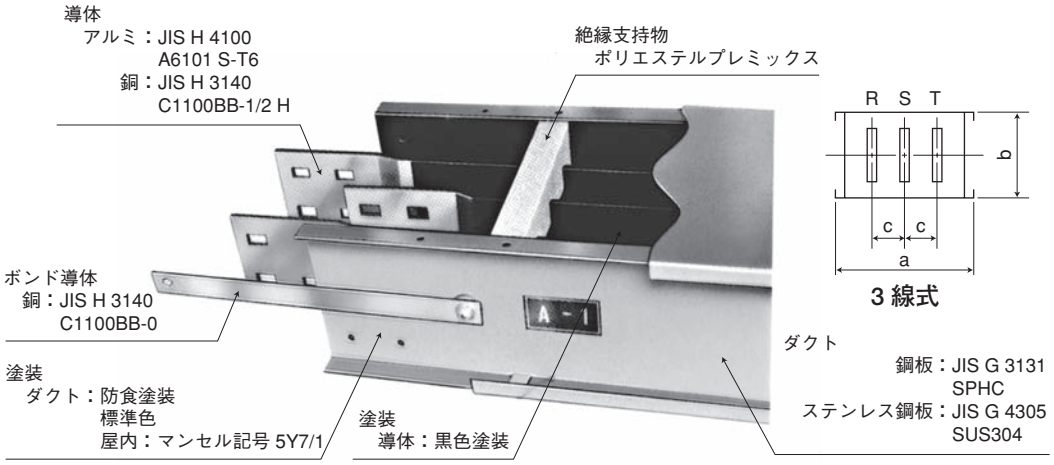
※ご注文の際は、1. 導体の種類、2. 定格容量、3. 導体サイズ、4. 線式をご指定ください。

注）上記のほか2線式も製作しております。

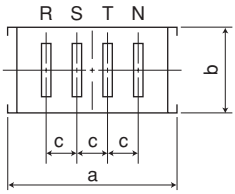
低圧バスダクト

普通形屋内用バスダクト（S型）

非換気形



3 線式



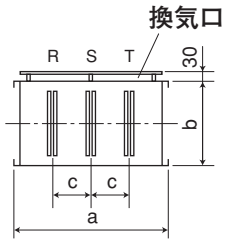
4 線式

外観写真

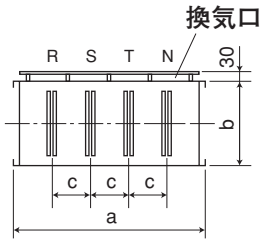
■非換気形

定格電流 A		導体サイズ（厚×幅×枚数）	3 線 式					4 線 式				
			a	b	c	質量 kg/m		a	b	c	質量 kg/m	
アルミ導体	銅 導 体	mm	mm	mm	mm	アルミ導体	銅 導 体	mm	mm	mm	アルミ導体	銅 導 体
—	400	6× 30×1	260	90	60	—	22	320	90	60	—	31
—	600	6× 50×1	260	110	60	—	26	320	110	60	—	35
—	800	6× 75×1	260	135	60	—	31	320	135	60	—	42
—	1,000	6×100×1	260	160	60	—	35	320	160	60	—	48
800	1,200	6×125×1	260	185	60	26	40	320	185	60	35	54
1,000	1,500	6×150×1	260	210	60	28	45	320	210	60	38	60
—	1,800	6×175×1	260	235	60	—	49	320	235	60	—	66
1,200	2,000	6×200×1	260	260	60	32	54	320	260	60	42	72
1,500	2,300	8×200×1	300	260	70	43	66	370	260	70	51	89
1,800	2,500	10×200×1	340	260	80	46	83	420	260	80	56	106
2,000	—	12×200×1	400	260	100	53	—	500	260	100	64	—

換気形



3 線式



4 線式

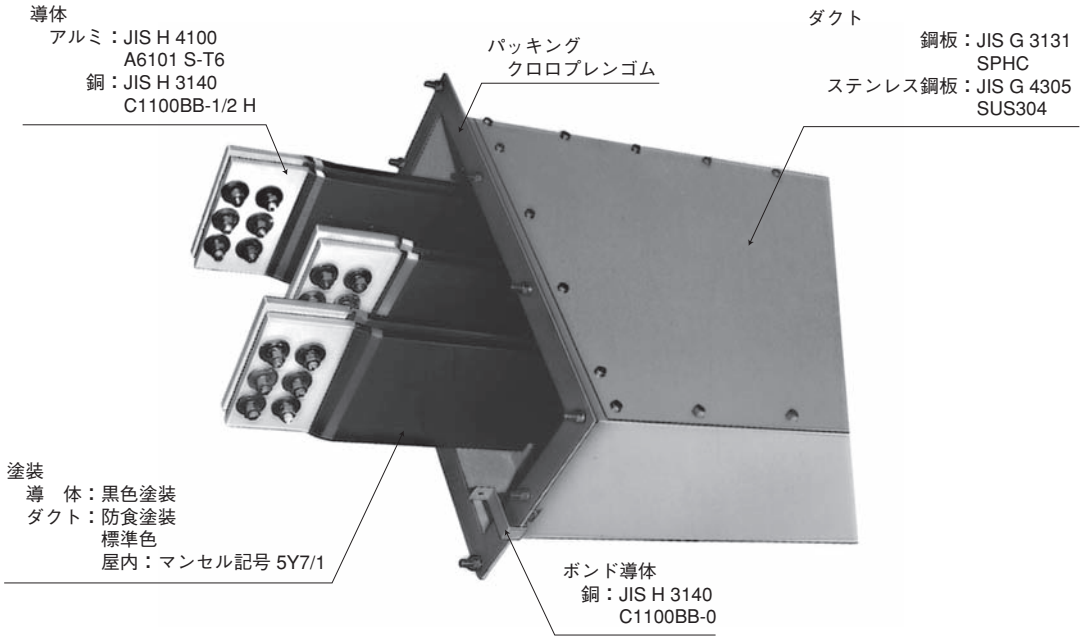
■換気形

定格電流 A		導体サイズ（厚×幅×枚数）	3 線 式					4 線 式				
			a	b	c	質量 kg/m		a	b	c	質量 kg/m	
アルミ導体	銅 導 体	mm	mm	mm	mm	アルミ導体	銅 導 体	mm	mm	mm	アルミ導体	銅 導 体
—	3,000	10×200×1	340	260	80	—	89	420	260	80	—	115
2,500	3,500	6×200×2	360	260	90	64	98	450	260	90	87	126
3,000	4,000	10×200×2	480	260	120	92	150	600	260	120	114	203
3,500	5,000	10×250×2	480	310	120	102	168	600	310	120	127	230
4,000	—	10×300×2	540	360	140	112	—	680	360	140	140	—
5,000	—	12×300×2	540	360	140	122	—	680	360	140	153	—

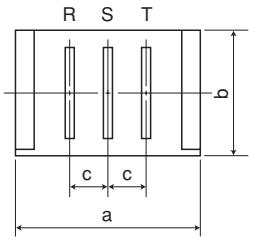
※ご注文の際は、1. 導体の種類、2. 定格容量、3. 導体サイズ、4. 線式をご指定ください。

注）上記のほか2線式も製作しております。

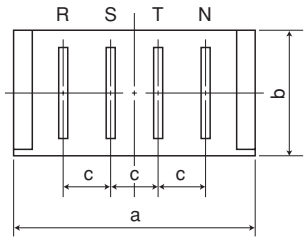
普通形屋外用バスダクト（SW型）



外観写真



3 線式



4 線式

定格電流 A		導体サイズ（厚×幅×枚数）	3 線 式					4 線 式				
			a	b	c	質量 kg/m		a	b	c	質量 kg/m	
アルミ導体	銅 導 体	mm	mm	mm	mm	アルミ導体	銅 導 体	mm	mm	mm	アルミ導体	銅 導 体
—	400	6× 30×1	260	90	60	—	24	320	90	60	—	34
—	600	6× 50×1	260	110	60	—	29	320	110	60	—	38
—	800	6× 75×1	260	135	60	—	34	320	135	60	—	45
—	1,000	6×100×1	260	160	60	—	38	320	160	60	—	51
800	1,200	6×125×1	260	185	60	29	43	320	185	60	38	57
1,000	1,500	6×150×1	260	210	60	31	48	320	210	60	41	63
—	1,800	6×175×1	260	235	60	—	53	320	235	60	—	70
1,200	2,000	6×200×1	260	260	60	36	58	320	260	60	46	76
1,500	2,300	8×200×1	300	260	70	41	71	370	260	70	55	94
1,800	2,500	10×200×1	340	260	80	51	88	420	260	80	61	111
2,000	—	12×200×1	400	260	100	58	—	500	260	100	66	—
2,500	3,000	10×200×2	480	260	120	81	155	600	260	120	109	208
—	3,500	10×250×2	480	310	120	—	182	600	310	120	—	246
3,000	4,000	12×250×2	540	310	140	118	224	680	310	140	144	290
3,500	—	12×300×2	540	360	140	124	—	680	360	140	154	—
4,000	—	15×300×2	600	360	160	141	—	760	360	160	185	—

※ご注文の際は、1. 導体の種類、2. 定格容量、3. 導体サイズ、4. 線式をご指定ください。

注）上記のほか2線式も製作しております。

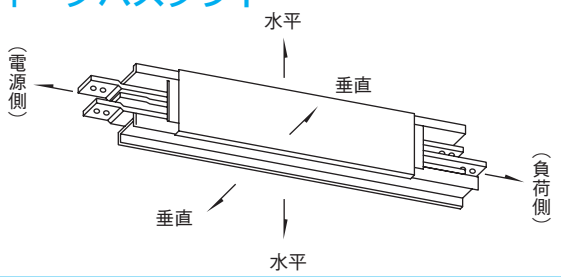
低圧バスダクト

特殊形状および付属品

バスダクト配電路を構成する場合、フィーダバスダクト以外に各種の特殊形状のバスダクトおよび付属品を必要とします。

当社ではあらゆる条件に合わせて特殊形状のバスダクトを製作しておりますが、布設ルートの決定にあたってはできるだけ直線状に布設するようにしますと経済的な設計ができます。おもな形状はつぎのとおりですが、フィーダバスダクトを右図のように置いた場合の導体の曲げ方向により、それぞれ「水平」「垂直」と区別して呼んでいます。

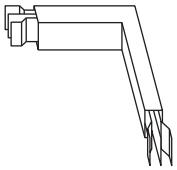
フィーダバスダクト



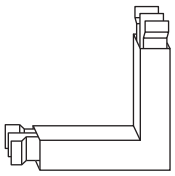
寸法単位（mm）

エルボ
（略称：L）

ルートを直角に変えるときに使用します。



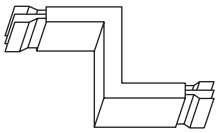
水平エルボ（略称：HL）



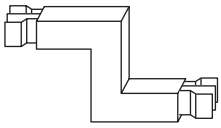
垂直エルボ（略称：VL）

オフセット
（略称：Z）

ルートの途中の障害物を避けたりルートの高低差を変えるときに使用します。



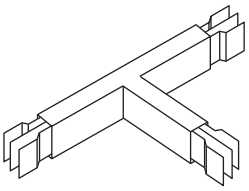
水平オフセット（略称：HZ）



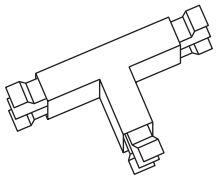
垂直オフセット（略称：VZ）

ティー
（略称：T）

ルートから二方向にバスダクトの分岐をするときに使用します。



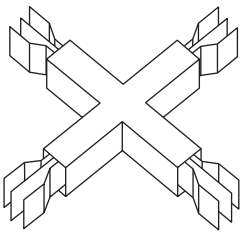
水平ティー（略称：HT）



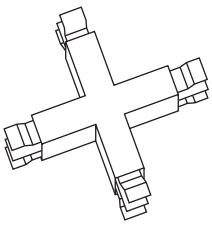
垂直ティー（略称：VT）

クロス
（略称：X）

ルートから三方向にバスダクトの分岐をするときに使用します。



水平クロス（略称：HX）



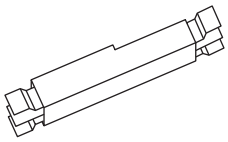
垂直クロス（略称：VX）

低圧バスダクト

寸法単位（mm）

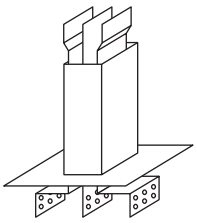
レジューサ
（略称：R）

バスダクト回路の途中から定格電流を低減するときに使用します。



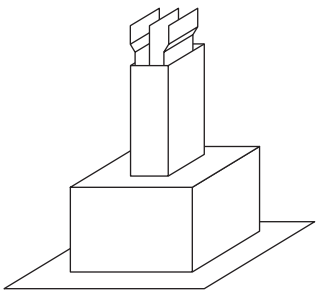
フランジ付バスダクト
（略称：Cub）

バスダクトを配電盤に接続する場合に使用します。



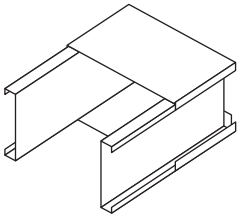
ボックス付バスダクト
（略称：TR）

バスダクトをトランスに接続する場合に使用します。



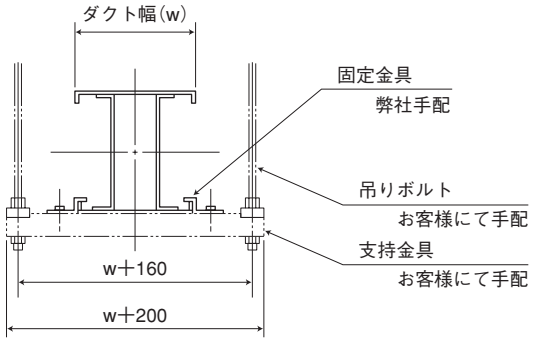
エンドクローザ
（略称：End）

バスダクトの終端を閉そくするときに使用します。



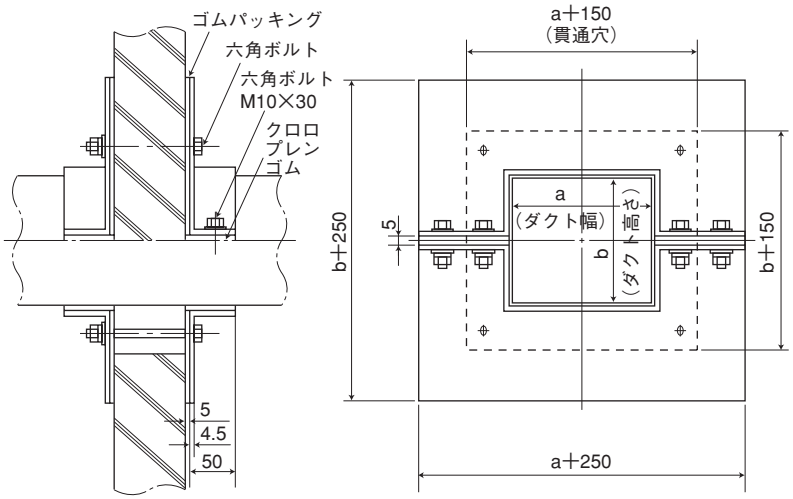
ハンガー
（略称：HG）

バスダクトを水平に布設する場合に使用します。



壁貫通金具
（略称：WF）

バスダクトが屋内、外を貫通する場合に使用します。



プラグイン器具

種　類

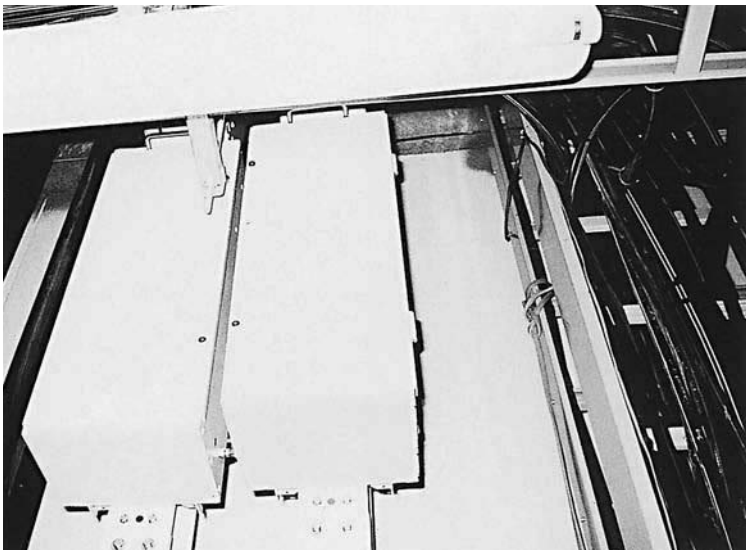
プラグイン器具とはプラグインバスダクトのプラグ受口（プラグインホールまたはプラグインタップ）に装着して所要の電流を分岐するときに使用するもので、種類として次のものがあります。

⑴**ブレーカボックス**
ブレーカボックスとは、その内部にノーヒューズブレーカ（NFB）を内蔵させた構造のもの。

⑵**スイッチボックス**
スイッチボックスとは、その内部に開放ナイフスイッチおよび筒型ヒューズを内蔵した構造のもの。

⑶**ヒューズボックス**
ヒューズボックスとは、その内部に開閉機構をもたず、筒型ヒューズのみ備えた構造のもの。

⑷**プラグインボックス**
プラグインボックスには、NFB容量が30A～800Aの種類があり、バスダクト導体からプラグイン接触子を使用して分岐させる構造のもの。


取付例：ブレーカボックス

Z型用プラグイン器具の取付

⑴**取付**
接続部に標準装備されたプラグインホール部にプラグ側の固定フックを引っ掛けて、回転力でクリップが差し込める構造です。

負荷側固定金具は、ボックスを押さえ込むだけで終了。

⑵**取外し**
分岐ボックスを外すときは、負荷側の固定金具を広げ、分岐ボックスを持ち上げます。
さらに、ボックスを持ち上げたままプラグ側の固定フックを外します。（上写真参考）

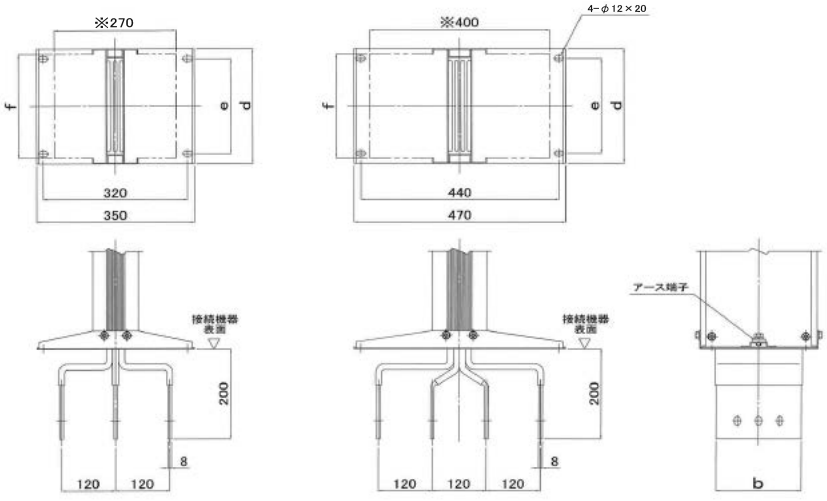
※ご使用の際は、必ず取扱説明書をご覧の上、作業を進めてください。

盤取合標準寸法

フランジ付バスダクト：Cub（Z型用）

盤開口寸法：（※印寸法）×（f 寸法）

外観写真



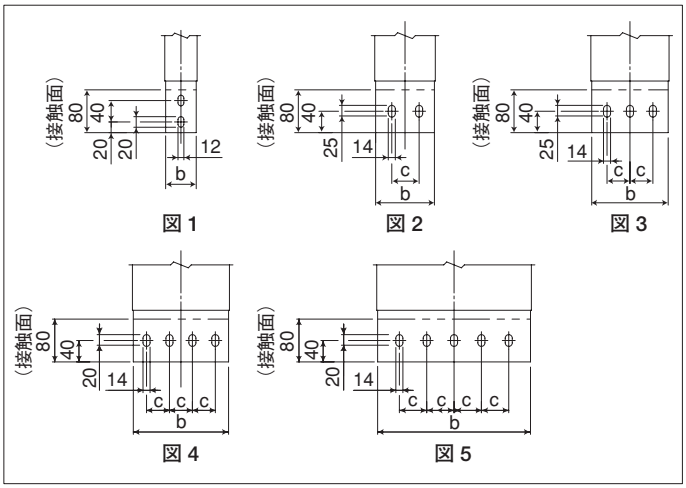
3 線式　　4 線式

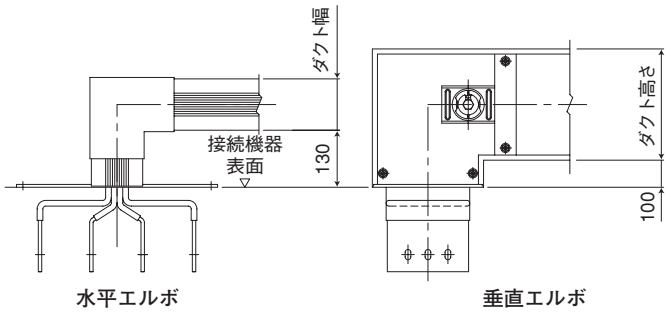
■アルミ導体

定格電流 A		b	c	d	e	f	図
三相	単相	mm	mm	mm	mm	mm	
600	800	40	—	104	60	80	1
800	1,000	60	—	124	80	100	1
1,000	1,200	75	—	139	95	115	1
1,200	1,500	100	50	164	120	140	2
1,500	1,600	135	42	199	155	175	3
1,600	2,000	150	50	214	170	190	3
2,000	2,500	190	42	254	210	230	4
2,500	3,000	240	50	304	260	280	4
3,000	3,500	300	50	364	320	340	5

■銅導体

定格電流 A		b	c	d	e	f	図
三相	単相	mm	mm	mm	mm	mm	
800	1,000	40	—	104	60	80	1
1,000	1,200	60	—	124	80	100	1
1,200	1,500	75	—	139	95	115	1
1,500	1,600	100	50	164	120	140	2
1,600	2,000	110	50	174	130	150	2
2,000	2,500	150	50	214	170	190	3
2,500	3,000	190	42	254	210	230	4
3,000	3,500	240	50	304	260	280	4





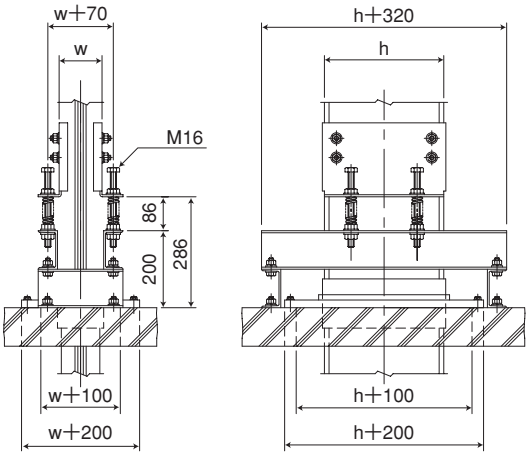
端末フランジ付の最小寸法

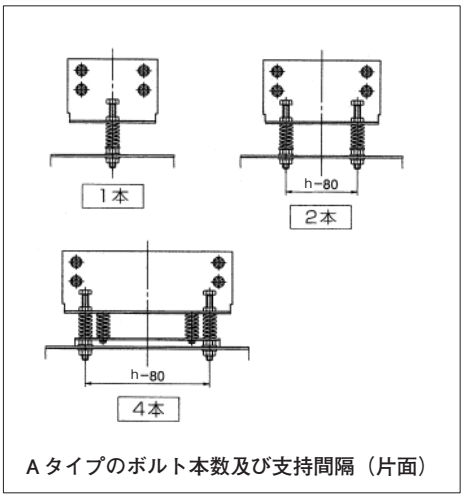
低圧バスダクト

床支持金具：（Z 型用）

Aタイプ支持

アルミ導体
：三相　600A～6,000A
：単相　800A～3,500A
銅導体
：三相　800A～6,000A
：単相　1,000A～3,500A
床開口寸法
：（w＋100）×（h＋100）

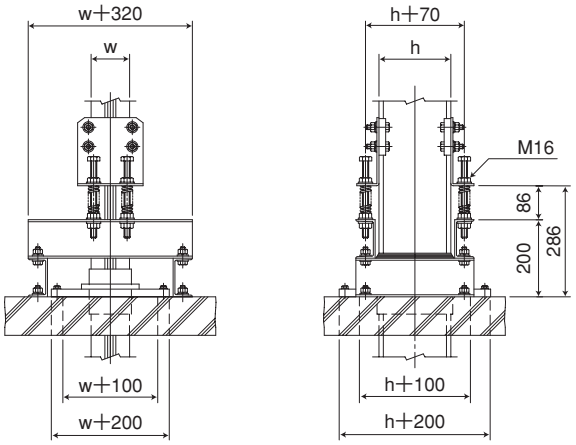


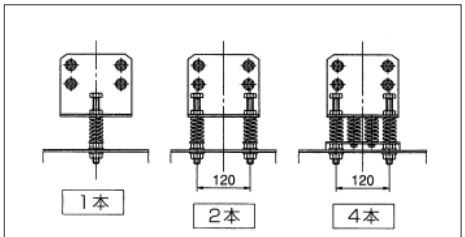


Aタイプのボルト本数及び支持間隔（片面）

Bタイプ支持

アルミ導体
：三相　600A～6,000A
：単相　800A～3,500A
銅導体
：三相　800A～6,000A
：単相　1,000A～3,500A
床開口寸法
：（w＋100）×（h＋100）





Bタイプのボルト本数及び支持間隔（片面）

注）床支持金具は、クランプ方式で位置合わせは不要です。（Aタイプ及びBタイプ共）また、ボルトは次のトルク値で締め付けて下さい。
ボルト寸法：M12
締め付けトルク：45N・m（450kgf・cm）

■アルミ導体

定格電流 A		ダクト幅 w mm		ダクト高さ h mm	床支持ボルト 3線式 本数(片面) 本	床支持ボルト 4線式 本数(片面) 本
三相	単相	3線式	4線式			
600	800	100	120	110	1	1
800	1,000	100	120	130	1	1
1,000	1,200	100	120	145	1	1
1,200	1,500	100	120	170	1	1
1,500	1,600	100	120	205	2	2
1,600	2,000	100	120	220	2	2
2,000	2,500	100	120	260	2	2
2,500	3,000	100	120	310	2	2
3,000	3,500	100	120	370	2	4
3,500	—	100	120	430	4	4
4,000	—	100	120	470	4	4
4,500	—	100	120	530	4	4
5,000	—	100	120	590	4	4
6,000	—	100	120	690	4	4

■銅導体

定格電流 A		ダクト幅 w mm		ダクト高さ h mm	床支持ボルト 3線式 本数(片面) 本	床支持ボルト 4線式 本数(片面) 本
三相	単相	3線式	4線式			
800	1,000	100	120	110	1	1
1,000	1,200	100	120	130	1	1
1,200	1,500	100	120	145	1	1
1,500	1,600	100	120	170	1	1
1,600	2,000	100	120	180	1	1
2,000	2,500	100	120	220	2	2
2,500	3,000	100	120	260	2	2
3,000	3,500	100	120	310	2	2
3,500	—	100	120	360	4	4
4,000	—	100	120	390	4	4
4,500	—	100	120	430	4	4
5,000	—	100	120	470	4	4
6,000	—	100	120	570	4	4

注）銅導体4線式3,500A及び4,000AのBタイプ支持の場合は、床支持ボルト本数は3本（片面）となります。

接続方法

Z型

※接続前に、必ず詳しく書かれた接続手順説明書をお読み下さい。

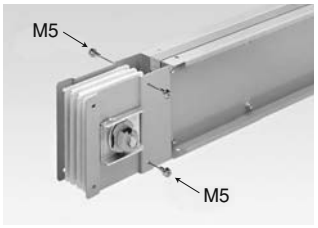
直線接続組立状態

垂直接続部

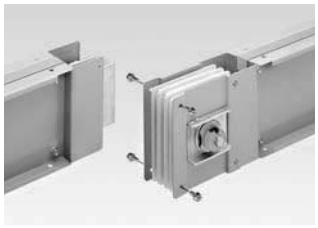
水平接続部

《接続方法》

1 布設するバスダクト及び接続ジョイナ・ジョイナカバーを準備します。

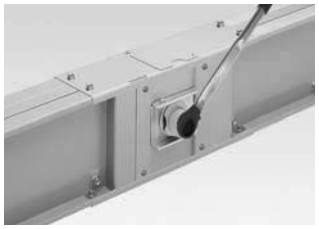


2 布設吊り上げ前に、本体接続部にジョイナをM5ねじで固定します。

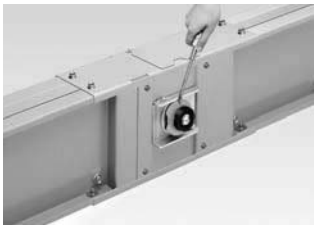


3 布設するバスダクトを、接続ジョイナに挿入し、ねじで固定します。さらに、接続カバーを取り付けM6ねじで固定します。

4 上面用カバーを取り付ける前に、内部の接続状態を確認します。



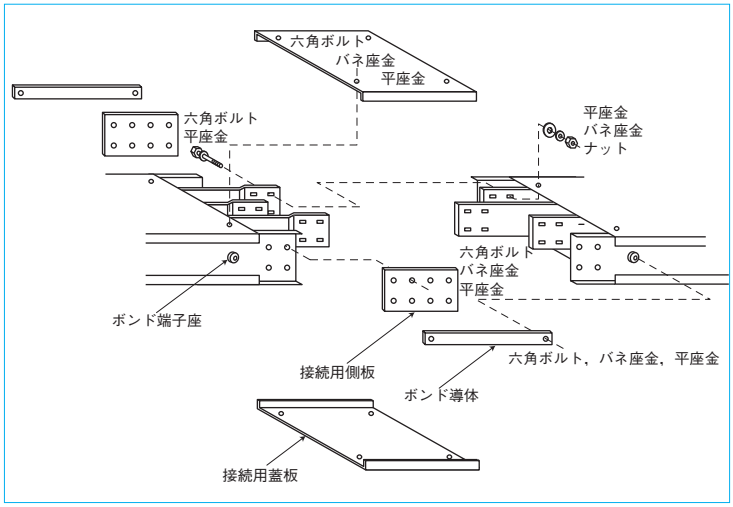
5 ルート全長布設後、専用レンチでロックボルトを締め付けます。
規定トルクでボルト外頭がねじ切れ、黄リングが外れます。



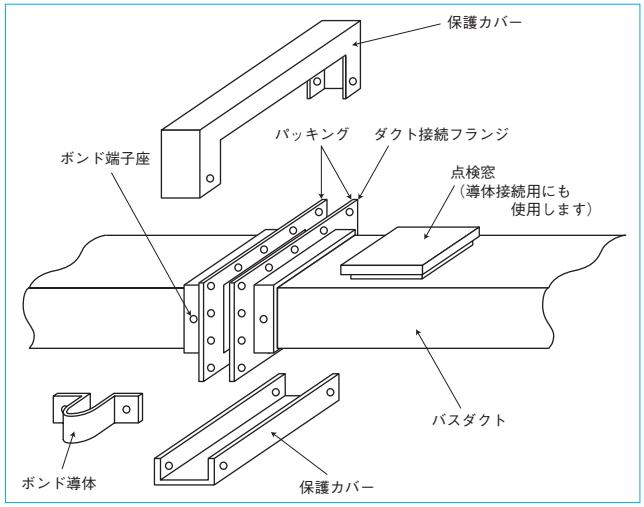
6 ロックボルトの締め付け終了後、黄プレートを壊し取り外して下さい。戻り止め機構がセットされます。

7 接続完了。
正しく接続されたロックボルトは、黒リングだけが残ります。

S型



SW型



※S型、SW型の詳細につきましては、別途お問い合わせ下さい。

特性と試験

密着絶縁形バスダクトのインピーダンス

■Z型（アルミ導体）

定格電流 A	導体サイズ（厚×幅×枚数） mm	相間距離（中心間） mm	交流抵抗 R ×10⁻⁵ Ω/m		リアクタンス X ×10⁻⁵ Ω/m	
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
600	8× 40×1	9.5	11.73	11.85	3.43	4.11
800	8× 60×1	9.5	7.90	7.97	2.53	3.04
1,000	8× 75×1	9.5	6.38	6.44	2.11	2.54
1,200	8×100×1	9.5	4.83	4.97	1.66	1.99
1,500	8×135×1	9.5	3.71	3.82	1.28	1.53
1,600	8×150×1	9.5	3.37	3.47	1.16	1.40
2,000	8×190×1	9.5	2.91	2.98	0.94	1.13
2,500	8×240×1	9.5	2.24	2.30	0.76	0.91
3,000	8×300×1	9.5	1.84	1.89	0.61	0.73
3,500	8×170×2	9.5	1.65	1.71	0.51	0.62
4,000	8×190×2	9.5	1.50	1.55	0.47	0.56
4,500	8×220×2	9.5	1.33	1.36	0.41	0.49
5,000	8×250×2	9.5	1.19	1.22	0.36	0.43
6,000	8×300×2	9.5	1.01	1.04	0.30	0.37

注）基準温度：90℃

■Z型（銅導体）

定格電流 A	導体サイズ（厚×幅×枚数） mm	相間距離（中心間） mm	交流抵抗 R ×10⁻⁵ Ω/m		リアクタンス X ×10⁻⁵ Ω/m	
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
800	8× 40×1	9.5	7.12	7.19	3.43	4.11
1,000	8× 60×1	9.5	4.79	4.84	2.53	2.74
1,200	8× 75×1	9.5	3.87	3.91	2.11	2.54
1,500	8×100×1	9.5	2.93	3.01	1.66	1.99
1,600	8×110×1	9.5	2.71	2.77	1.53	1.84
2,000	8×150×1	9.5	2.05	2.10	1.16	1.40
2,500	8×190×1	9.5	1.76	1.81	0.94	1.13
3,000	8×240×1	9.5	1.36	1.40	0.76	0.91
3,500	8×290×1	9.5	1.16	1.18	0.63	0.76
4,000	8×150×2	9.5	1.12	1.14	0.58	0.69
4,500	8×170×2	9.5	1.00	1.03	0.51	0.62
5,000	8×190×2	9.5	0.91	0.94	0.47	0.56
6,000	8×240×2	9.5	0.74	0.77	0.38	0.45

注1）基準温度：90℃
注2）この値は 3 相平均値につき、各相のインピーダンスは別途計算が必要です。

普通形バスダクトのインピーダンス

■S型（アルミ導体）

定格電流 A	導体サイズ（厚×幅×枚数） mm	相間距離（中心間） mm	交流抵抗 R ×10⁻⁵ Ω/m		リアクタンス X ×10⁻⁵ Ω/m	
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
800	6×125×1	60	5.5	5.6	7.1	8.5
1,000	6×150×1	60	4.6	4.7	6.3	7.5
1,200	6×200×1	60	3.5	3.6	5.1	6.2
1,500	8×200×1	70	2.8	2.8	5.7	6.8
2,000	12×200×1	100	2.0	2.0	7.2	8.6
＊2,500	6×200×2	90	2.1	2.1	6.5	7.8
＊3,000	10×200×2	120	1.4	1.4	7.5	9.0
＊3,500	10×250×2	120	1.2	1.2	6.6	8.0
＊4,000	10×300×2	140	0.95	0.98	6.6	7.9

注1）基準温度：90℃
注2）＊印は換気形を示します。

■S型（銅導体）

定格電流 A	導体サイズ（厚×幅×枚数） mm	相間距離（中心間） mm	交流抵抗 R ×10⁻⁵ Ω/m		リアクタンス X ×10⁻⁵ Ω/m	
			50Hz	60Hz	50Hz	60Hz
400	6× 30×1	60	12.4	12.4	14.2	17.0
600	6× 50×1	60	7.7	7.7	11.5	18.8
800	6× 75×1	60	5.2	5.2	9.5	11.4
1,000	6×100×1	60	4.0	4.0	8.6	10.3
1,200	6×125×1	60	3.3	3.3	7.2	8.6
1,500	6×150×1	60	2.9	2.9	6.7	8.0
2,000	6×200×1	60	2.2	2.3	5.5	6.6
2,500	10×200×1	80	1.4	1.5	6.3	7.6
＊3,000	10×200×1	80	1.4	1.5	6.3	7.6
＊3,500	6×200×2	80	1.2	1.3	6.2	7.4
＊4,000	10×200×2	120	0.9	1.0	7.6	9.1

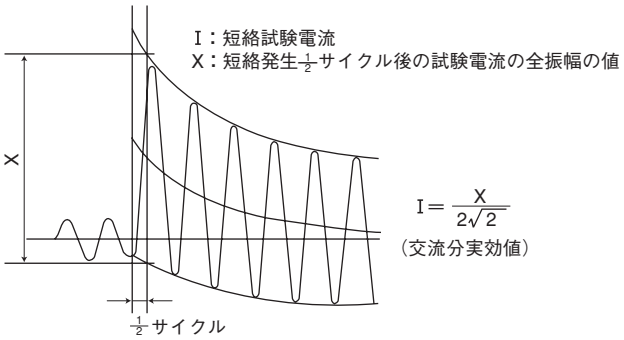
注1）基準温度：90℃
注2）＊印は換気形を示します。

※SW型データもございます。詳細は別途お問い合わせ下さい。

短絡強度

短絡強度とは熱的にも機械的にも耐え得る強度で、図のような短絡電流を約0.1秒間通電して各部に異常を生じない過電流強度を示します。

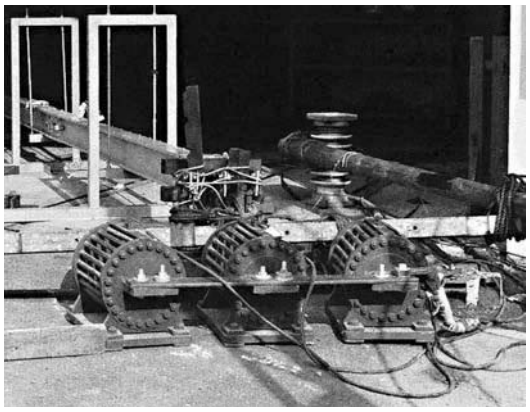
なお、保護協調の面から規格値よりも長い耐短絡時間が必要な場合はそれ等の値を御指定下さい。



短絡試験電流

■JIS規定値

定　格　電　流 A	短　絡　電　流 A
400	22,000
600	22,000
800	22,000
1,000	22,000
1,200	42,000
1,500	42,000
2,000	60,000
2,500	60,000
3,000	60,000
3,500	60,000
4,000	90,000
5,000	90,000


短絡試験状況

受渡試験

通常の受渡試験はJISに従って次の試験項目の順序によって全数について行ないます。

(1)　構造検査

材料、構造、仕上げ、接触状態などを点検し、いずれも規定に合格するかどうかについて検査します。

(2)　絶縁抵抗試験

直流500Vの絶縁抵抗計で各極の間および充電部と非充電金属部との間の絶縁抵抗を測定し、各々の値が５ＭΩ以上とします。

(3)　耐電圧試験

(2)の試験部分に周波数50Hz（60Hz）の交流電圧2,500Vに１分間耐えるものとします。

その他の特性試験

全数について通常行なう受渡試験の他、次のJIS規格試験特性を満足します。

(1)温度試験　(2)短絡試験　(3)水平荷重試験　(4)垂直荷重試験　(5)衝撃試験　(6)屋外用バスダクトの散水試験

■周囲温度と使用電流の関係

バスダクトの許容電流は周囲温度を 40℃とし、連続通電した場合、導体の最高許容温度が95℃以下になるように設計されています。

しかし明らかに周囲温度が40℃以外の場所に布設される場合は、定格電流に表のKを乗じた値をその場合の許容電流の目安として下さい。

■電流変更係数（K）

周囲温度θ ℃	電流変更係数 K	計　算　式
25	1.12	$K=\sqrt{\frac{a-\theta}{b}}$ a：最高許容温度（95℃） b：最高温度上昇値（55deg）
30	1.08	
35	1.04	
40	1.00	
45	0.95	
50	0.90	

■エクスパンション部

バスダクト回路には熱伸縮による異常な応力を与えたり、蛇行を発生させないため適宜の箇所にエクスパンション部を設ける必要があります。その回路内のエルボ・オフセット等のコーナーはエクスパンションと同様の機能を有していると考えられますが直線部分が非常に長くなる場合は約40mについて１箇所の割合でエクスパンションバスダクトを入れます。

参考資料（電気設備技術基準）

■幹線のレジューサ、分岐の箇所に過電流しゃ断器を施設する基準（解釈第149条）

レジューサの場合

バスダクト幹線にレジューサを使用する場合は表の組合せを除き、過電流しゃ断器を必要とします。

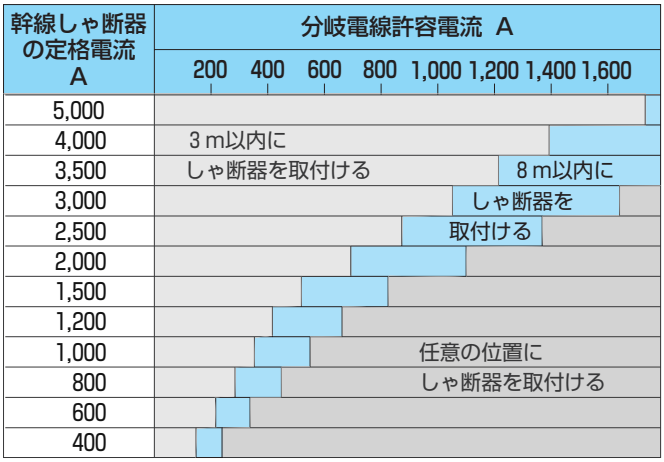
分岐の場合

バスダクトから分岐する場合は過電流しゃ断器の取付位置が表のような条件を満足するよう布設する必要があります。

■バスダクトのレジューサの箇所に過電流しゃ断器を必要としない場合

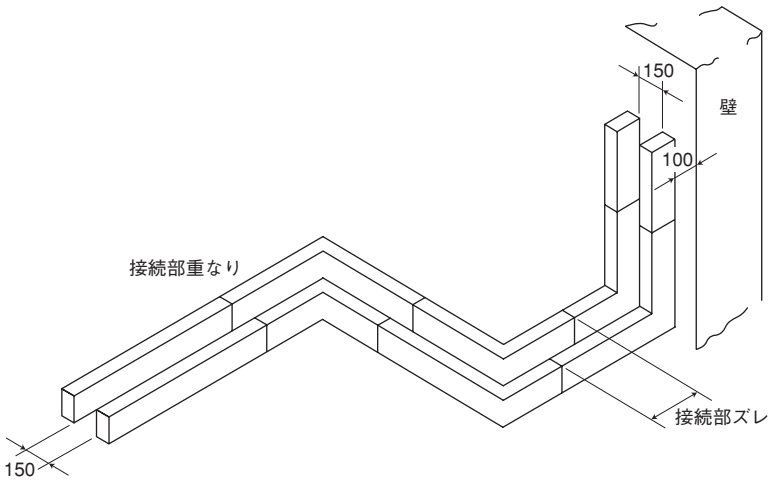
バスダクト幹線保護用過電流しゃ断器の定格電流 A	レジューサ幹線用バスダクトの定格電流 A					
	長さ制限なし			長さ8m以下		長さ3m以下
5,000	3,000	3,500	4,000	2,000	2,500	レジューサ幹線の負荷側に、他の幹線を接続しない場合は、任意の値でよい。
4,000	2,500	3,000	3,500	1,500	2,000	
3,500	2,000	2,500	3,000	1,500	—	
3,000	2,000	2,500	—	1,200	1,500	
2,500	1,500	2,000	—	1,000	1,200	
2,000	1,200	1,500	—	800	1,000	
1,500	1,000	1,200	—	600	800	
1,200	800	1,000	—	600	—	
1,000	600	800	—	400	—	
800	600	—	—	400	—	
600	400	—	—	—	—	
400	—	—	—	200	—	

■バスダクト分岐箇所に施設する過電流しゃ断器取付位置



注）上図の定格電流は分岐点に最も近い電源側の幹線しゃ断器定格電流を示します。

■布設ルートの最小寸法



平行布設例

1．図のように接続部が重なっていてもズレていても上記寸法で布設できます。
2．並行布設するバスダクトが３ルート以上の場合でも上記の寸法で布設できます。

■支持間隔（省令第56条第1項、第57条第1項、解釈第163条）

バスダクトの支持間隔は３m以下と規定されていますが、施工、保守、造営材の構造等を考えて２m以下を標準にしています。また、バスダクトの各ユニットは必ず１箇所以上支持する設計にしております。なお垂直方向に布設するバスダクトは床貫通部分で支持しますが、その支持間隔は６m以下と定められています。

■接地工事（省令第10条、第11条、解釈第163条）

バスダクトの接地は下記により施工して下さい。

(1) 使用電圧が300V以下の場合は、バスダクトにD種接地工事を施すこと。

(2) 使用電圧が300Vを超える場合は、バスダクトにC種接地工事を施すこと。ただし、人が触れるおそれがないように施設する場合は、D種接地工事によることができる。